

看護職の現場 高校生が体験

進路選択の参考に

高校生に看護職への理解を深め、進路選択の参考にしよう「ふれあい看護体験」が、製鉄記念室蘭病院で開かれた。

同病院が毎年開催し、今年は7月31日に実施した。室蘭、登別、伊達の3市の高校7校から3年生計21人が参加した。

生徒は産科など七つの病棟に分かれ、入院患者の洗髪などを補助した。整形外

科などが入る病棟では3人が足浴に挑戦し、入院患者の足をぬるま湯を張ったたらいで、丁寧に洗った。

伊達緑丘高の菊池柚衣さんは「患者さんの気持ちに寄り添うことが大切だった」と目を輝かせた。

採用に直結するわけではないが、同病院看護部長の塚田秀子さんは「就職した看護師がこの体験を受けたと話してくれたことはある。病院の空気を感じる機会にしてほしい」と話した。

同様の体験は3日に日鋼記念病院でも開かれる。

(生田憲)



患者の目を見てコミュニケーションを取りながら足を洗う高校生